

# センサでお年寄りの生活を見守る

農業研究本部・森林研究本部・産業技術環境研究本部・建築研究本部

## 背景・目的

- ・北海道は高齢化率が31.9%と全国平均28.4%を大きく上回り、約4割の市町村で40%を超えている。
- ・さらに各市町村の面積が広大なこともあり、高齢者への医療福祉サービスが届きにくい現状がある。
- ・こうした課題の解決に向けて、ICT（情報通信技術）を活用して「高齢者の安否や生活の様子を見守る」技術の開発を目指した。

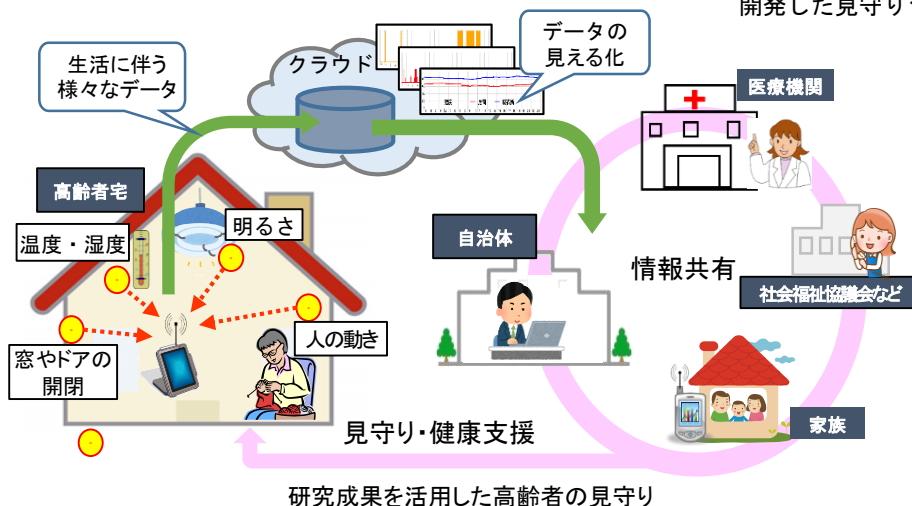
## 成果

### 高齢者の安心・安全な生活を支援するための「見守りシステム」を開発

- ・人の動きや、室内の明るさ、温度・湿度、ドアの開閉などを検出するための無線センサを開発した。
- ・高齢者の動きの有無や、室内環境の推移などを「見える化」するデータ解析技術を開発した。
- ・協力自治体の独居高齢者宅で運用試験を行った結果、日々の安否確認だけでなく、長期間のデータを解析することによって、健康支援にも役立つ生活パターンを把握することができた。



開発した見守りシステム



## 成果の活用

### 自治体、医療機関、家族などが連携した高齢者の支援に活用

- ・開発した見守り・健康支援システムを用いて、人口減少地域に暮らす高齢者が、家族や地域の行政・医療機関等に見守られながら自立して、安全・安心かつ健康的な生活を送ることに寄与する。
- ・今後、本システムの社会実装を図るとともに、蓄積されるデータを用いて健康状態を解析する解析アルゴリズムの研究開発を進めてシステムに組み込み、介護予防や健康増進を支援する。